学校番号	1001

令和８年度　学　総合科

教科	学　総合	科目	(学)論理演習総合	単位数	１単位	年次	３年次
教材名	論理エンジン　ＯＳ１、ＯＳ２（水王舎） 自主作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

あらゆる学習の基礎になる「読解力」を中心に、日本語力をつける授業です。
重要なのはこの科目で点数をとることではなく、あらゆる文書を正確に読めることと、自分の主張を正確に相手に伝えることができることです。
解答を合わせるよりも、なぜその解答になるかを説明できるように勉強してください。

2　学習の到達目標

- 文と文との論理的関係を理解するとともに、語彙を身につけ、物事を筋道立てて考えることができる。
- 文章だけでなく数的な情報を正しく判断し、読み取ることができる。
- リーディングスキルを活用しコミュニケーション能力を向上させようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙力、言語力、数的把握能力の基礎を身に付けている 新聞や書籍などを読解する力を身に付けている。	自分の考えを文章やデータにして正しく表現できている。	ドリル教材と単元ごとのレベルクリアテストを、あきらめずに取り組めている。また、レベルをクリアできていない内容のふりかえり学習に積極的に取り組めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	OS1・OS2・自主教材	・論理エンジン OS1、OS2の中からいくつかのレベルを選択し、学習する。 ・レベルごとにクリアテストを行い、基準に達しない者に対する補習を実施する。 ・主に教科書からとった文書について、読解問題や論述問題を作成して学習する。 ・自主作成プリントを用いて学習する。	a:指示語の内容を把握し、言葉のつながりの構造を理解している。 b:言葉のつながりを考え、文章にして表現できる。 c:文の成り立ちの仕組みを考察し、粘り強く取り組んでいる。	・レベルクリアテスト ・定期考査	・定期考査 ・レポート課題	・日常の取り組み状況 ・補習の状況 ・振り返りシート
後期			a:指示語の内容を把握し、言葉のつながりの構造を理解している。 b:言葉のつながりを考え、文章にして表現できる。 c:文の成り立ちの仕組みを考察し、粘り強く取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度